

市民俳歌柳壇

歌壇

安野登美子 選

◎選評 真夏の太陽と真つ赤なカンナが勝負する。発想と感性を存分に示す作。「真つ向から」真剣勝負、鏗り合ひを感じさせ、「如」に意志力が見える。「飛び切り眩し」に太陽に立ち向かうカンナの赤に驚嘆する。真つ向から素材にそして、作爲なき表現が新鮮且つ意欲作であった。

初秋なり夏のなごりの花々と
秋花咲きそめ庭はパレット
下荒針町 石川 幸子

吹く風に時の移ろひ感じをり
暮しの中にも小さき秋見ゆ
江曾島4丁目 今井 立子

●緑2丁目 片嶋 青水

亡き君の秋の彼岸の墓参り
そつと墓石に触れる左手
花園町 小林 秀行

台風去り秋の気配を感じつつ
見上げる空にへりの轟音
江曾島町 長谷川 昇

俳壇

星田一草 選

◎選評 路地裏を廻るバスはお年寄りのお出掛けに大いに便利。カンナの咲く路地。気心の知れた近所同士。その路地住まいの様子がほのぼのと思えてくる。真つ赤に咲くカンナに元気をもらっているのだろう。小さな幸せが漂っている。

初潮の沖に往来船幾重
若草4丁目 瀧田 憬

指先に塩きらきらと秋刀魚焼く
中今泉5丁目 丸田 守

●平松本町 伊藤 安

赤とんぼ各駅停車見送りぬ
雀の宮2丁目 松本きよ子

糸瓜忌や根岸の豆腐料理店
泉が丘7丁目 石井 温平

柳壇

荒井宗明 選

◎選評 今年もサンマの季節となった。豊漁とは言えないが、まあまあというところらしい。特に魚が好きという訳ではないが、一度や二度はついでにみたくなる。だが、句に無作法な箸とある通り、食べ方によってその価値は半減する。佐藤春男は「サンマ甘いかしよぼい」と言っているが、サンマは、そういう味で味わつのではない。腸の苦味、残された骨の姿に、食べたことを実感するのである。

ついに来た敬老会の招待状
下栗町 大塚 榮子

眠れぬ夜つまらぬ過去が渦を巻く
緑3丁目 宇賀神規子

●立伏町 大樹龍五郎

孫の部屋いつの間にもやら開かずの間
竹林町 小堤 きみ

百葉の長に命を縮められ
宮本町 植野 篤治

今月は
うつのみや
イルミネーション

うつのみや
なぜなに?



「うつのみやイルミネーション」
について教えて

うつのみやにまつわる「はてな」をミヤリーと友達のハッピーが紹介するよ。



ミヤリー

ハッピー

ミヤリー

地域の人たちに支えられて、イルミネーションが広がっていったんだね。これからもどんどん広がっていくといいね。

そうだね。うつのみやイルミネーション点灯期間初日には楽しいステージが行われる点灯式(※4ページ参照)もあるんだ。

わくわくしてきたーハッピーと一緒に見に行こうよ!

毎年冬が近づくと、街中のイルミネーションがきれいだね。うつのみやイルミネーションについて詳しく教えて。

今年も、11月17日から来年の1月15日までが点灯期間になっていて、20万球の光で街中が華やかに彩られるよ。

長く楽しめるんだね。ちなみにうつのみやイルミネーションはいつから始まったの？

魅力的な夜の景観をつくるため、平成10年の「大イチョウ」のライトアップから始まったんだ。

現在では、オリオンスクエアや、曲師町の釜川沿い、大通りの一部、バンバ通り、日野町通り、東武馬車道通り、オリオン通り、ユニオン通りなどの街中の商店街でうつのみやイルミネーションが行われているよ。

◎俳歌柳壇 応募方法 1人に付き俳句3句、短歌3首、川柳3句以内。対象は市内在住の人で、未発表作品に限ります。はがきに、作品(漢字にはふりがなも付けて)・住所・氏名(ふりがな)・応募する壇名を書き、毎月20日(消印有効)までに、〒320-8540市役所広報広聴課へ。俳句・短歌・川柳の併記は不可。☎広報広聴課(632)2028